

イネ 本来の力を引き出し
高温等の気候ストレスに耐える !!

ワンダ
WONDA®

(液剤・粒剤)

- ◆ 海藻エキス・アミノ酸・核酸が主成分
- ◆ 猛暑下でも収量減少と品質低下を軽減



自社試験 新潟県三条市 6/25撮影

無処理区
(田植え 20 日後)

処理区
(田植え 20 日後)

活着が早く、初期生育も良い

自社試験 新潟県三条市 9/6 撮影

無処理区
(刈り取り前)

処理区
(刈り取り前)

倒伏が目立ち、穂枯れも多い



ロイヤル インダストリーズ株式会社

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19

TEL 03-3489-1408

FAX 03-3489-9308

各成分の働き

◆**海藻エキス「ケルパック 66」** 原料海藻（褐藻類）の「エクロニア・マキシマ」には、アミノ酸、ミネラル、ビタミン、多糖類、植物ホルモンなど 66 種類にも及ぶ成分が含まれており、植物ホルモンの中でも特にオーキシン様物質が多いことが知られています。それらの複合作用で生育が旺盛・健全になり、根量が増え光合成能が高まります。また、本海藻に含まれるポリフェノールの一種「フロロタンニン」が高温等のストレス耐性を増し、「ポリアミン」が花粉管の伸長などにプラスに働くことが期待できます。

さらに、この海藻中の成分をできるだけ損なわずに取り出すため、熱や化学物質を使用することなく、低温下で圧力差を利用してエキスを抽出する特許製法「コールド・セルバースト方式」を採用することで原料の持つ効果・効能と相俟って唯一無二の海藻バイオスティミュラントとなっています。

（有機 JAS 規格別表 I に適合した資材）

◆**グルタミン酸液・糖蜜発酵エキス** 気候ストレス軽減に有効といわれているアミノ酸のグルタミン酸と糖蜜発酵エキスが入っているため、上記同様、耐暑性が高まり、糖度アップ・食味向上にも期待ができます。また、グルタミン酸液中の「核酸」との相乗効果でプロリンの効果もさらに強化されます。

◆**プロリン・メチオニン**：メチオニンはアミノ酸の中でもエチレンの前駆体として登熟に、また通期で乾燥などのストレス軽減にも役立つことが知られています。プロリンは、花粉を充実させるアミノ酸として登熟・籾重・整粒・乳白米軽減に期待ができますが、それだけでなく、「生理調節物質」として、様々な気候・環境ストレスに対する耐性向上を支える中心的な役割を果たします。

◆**納豆菌由来成分** 当社製品グルタンも添加しているため、健全な生育をサポートします。

令和 7 年 WONDA 処理による試験結果

（社内試験データ）

品種	処理時期	処理方法	実収量 (kg)	実収量 (対照区)	整粒歩合
青森県つがる市 I 様	まっしぐら 田植え直後 1 回	流し込み	620	584	—
	中干し直後 1 回	粒剤散布			
新潟県村上市 S 様	コシヒカリ 育苗期 1 回	葉面散布	573	528	74
	幼穂形成期 1 回	ドローン散布			
新潟県三条市 H 様	コシヒカリ 育苗期 1 回	葉面散布	571	534	73
	中干し直後 1 回	流し込み			
山形県鶴岡市 T 様	はえぬき 育苗期 1 回	苗箱施用	602	591	75
	幼穂形成期 1 回	粒剤散布			

WONDA 液剤

登録番号 生第 109900 号

保証成分 (%)

チッソ	カリ
2.5	1

WONDA 粒剤

土壌改良資材入り指定混合肥料

主成分含有量 (%)

チッソ	カリ
0.625	0.25

WONDA 液剤 使用方法

使用時期	育苗期		本田期			
	緑化期・硬化期	田植え直前期【弁当持たせ処理】	中干し後の入水時 または	幼穂形成期		
使用目的	健苗育成・マット形成強化	植え傷みからの回復・活着促進 分けつ促進・有効茎の確保	籾重、増収、登熟・食味向上、倒伏軽減、乳白米軽減			
処理方法	プール育苗 または 平床育苗	プール育苗 または 平床育苗				
	流し込み  噴霧機等で 希釈しやすい 倍率で散布	【田植え1週間前】 流し込み  【田植え 2-3 日前】 200 倍 原液を 5～6 L の水で希釈し、 250-400ml/ 箱 散布する	※1 水口からの流し込み 	背負い / 動力噴霧器	※2 ドローン等 	
原液 使用量	15ml / 10a (苗箱 15-20 枚) (出芽期にも処理する場合は 3ml)	45-60ml / 10a (3ml/ 箱)	25 ～ 30ml / 10a (苗箱 15-20 枚)	0.5-1L / 10a (葉色を見ながら)	200-300ml / 10a 希釈液量：50-150L	100ml / 10a 希釈液量：0.8-1.5L

※1：ムラが出ないように、田面の高い所が隠れるように水を溜めてから一気に流し込み、流し込んだ後も水を入れ続けて深水にすることがポイントです。

※2：ドローン等で散布する場合は、高濃度散布となるため、早朝の涼しい時間帯に散布してください。

WONDA 粒剤 使用方法

使用時期	育苗期		本田期	
	緑化期・硬化期	田植え直前期【弁当持たせ処理】 (田植え 2-3 日前)	中干し後～幼穂形成期	
使用目的	健苗育成・マット形成強化	植え傷みからの回復・活着促進 分けつ促進・有効茎の確保	籾重、増収、登熟・食味向上、倒伏軽減、乳白米軽減	
処理方法	各散布機で散布	各散布機で散布 (散布後、必ず散水)	各散布機・ドローン等で散布 	
使用量	60g / 苗箱 15-20 枚 / 10a	1.5kg-2kg / 苗箱 15-20 枚 / 10a (100g / 枚)	2kg / 10a 	

注意事項 過剰施用すると生育を抑制することがあるので使い過ぎないでください。育苗期に使い過ぎた場合は大量の水を掛け洗い流してください。

製品規格 ・WONDA 液剤（比重 1.08）：1ℓ入り×15本 / ケース、5ℓ入り×4本 / ケース
・WONDA 粒剤：2kg入り×10袋 / ケース、10kg入り×2袋 / ケース

2026.08